

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0240/300510/01/02		事業の種類		4	
年度	19	事務事業名	農業情報伝達事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		農林水産一般事務経費(部落農会長報酬)		担当部課名	産業振興課			
政策名		にぎわいと活気のあるまちづくり						
施策名		農林漁業		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規		部落農会長規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	現状の農業情勢を伝達し、農家の意思を確認するため、部落農会長を各集落に配置する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農家に正確な情報を伝えるため、農会長と連絡を密にする。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	農会長との連絡		随時	随時	随時	随時
	農会長会	回	6	6	6	6

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.020	0.020	100.0	0.020	100.0	0.010	50.0	
	臨時職員			－		－		－	
支出内 訳	人件費	1,136,128	885,594	77.9	913,605	103.2	783,692	85.8	
	事業費	5,137,540	5,122,480	99.7	5,061,000	98.8	5,061,000	100.0	
	合計	6,273,668	6,008,074	95.8	5,974,605	99.4	5,844,692	97.8	
財源内 訳	国庫支出金			－		－		－	
	県支出金			－		－		－	
	市債			－		－		－	
	その他			－		－		－	
	一般財源	6,273,668	6,008,074	95.8	5,974,605	99.4	5,844,692	97.8	
	合計	6,273,668	6,008,074	95.8	5,974,605	99.4	5,844,692	97.8	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		部落農会長会の開催							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2		部落農会長会の開催							
指標説明(式)		出席人数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0			

【効率性】

指標名1		農会長一人あたりに要する経費							
指標説明(式)		支出額／出席人数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	138,852	138,445	99.7	136,783	98.8	136,783	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市の農業行政の伝達・意思確認を行うためには、部落農会長なくしては、集約できない。	4	4
	市民ニーズ	農家の意見を集約するためにも、農会長は必要不可欠である。		
有効性	成果目標(改善)達成度	十分な成果を得ているものと考えている。	4	4
	市民サービス	市民サービスの向上を図るためには、市の非常勤特別職として、部落農会長は必要であり、細やかな市民サービスを図ることができる。		
効率性	コストの節減	平成18年度に報酬の改定を行った。	3	3
	手段の最適性	農家に情報を伝達する方法としては部落農会長制度は必要不可欠である。		

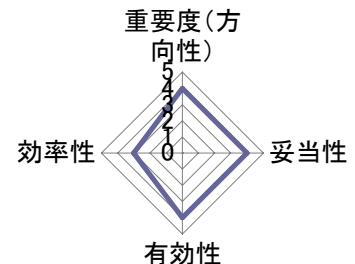
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	農家数が減少傾向にある中において、各集落単位で構成されている農会組織をある程度統合する考え方が必要である。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
H19→H20予算反映額		



(2) 20年度の実施方針

--

検討の有無	—
総合指標	21